施設使用料見直しに係る外部団体等との協議
スポーツ施設③

日時	令和8年10月28日（水）18：30-19：15
協議先	諏訪市スポーツ協会32団体（参加4団体）

[空手道協会]
今の状況を考えれば使用料の見直しはわかる。ただ人口が減少している中、利用者を増やす方法を考えているがなかなか増えない。市として利用者を増やすためにどんなことを考えているか。
[市]
種目を決めて行うわけではないが、幼少期から体を動かすことに親しんでもらう教室を開き、その後の運動習慣につながることを期待した取組をしている。また、施設を利用しやすい環境を整えていきたい。さらには、窓口に来なくても良い仕組み等、予約方法の利便性向上にむけた見直しも検討していく。少子化が進む中でこれまでの様に人員の確保はできなくなっており、競技ごとに確保するのではなく市の施設全体で考えることも必要。スポーツ協会のご意見も伺いながら検討していきたい。

[バドミントン協会]
使用料の改定とともに、施設の配置についても見直してほしい。
スポーツ協会としては文化施設とスポーツ施設のバランスも含めて、施設を維持していくと同時に市内における施設全体の配置・バランスをどうしていくかを考えて見直しをしてもらいたい。このことを意見として伝えてほしい。
[市]
使用料の見直しは総合管理計画の最終段階である。これまで施設総量の適正化・長寿命化に努めてきた。今後の計画についての参考にさせていただきたい。

[空手道協会]
スポーツができる環境が健康につながっている。医者にかからない（保険料を使わない）という面で市に貢献している。

[バドミントン協会]
各施設の維持管理費というが維持費の公表ができないか。
[市]
細かい数字は公表していない。
（各公共施設の維持管理経費をまとめた施設カルテは公表している。）

［サッカー協会］
算出根拠も明確で、値上げについては理解する。４年ごとの見直しの際にも直近３年間の維持管理経費の平均値によって算出するのか。
［市］
その通りです。また、いただいた様々な意見を参考にしながら進めていく。

［バドミントン協会］
施設の管理委託についても維持管理経費に影響するため見直してほしい。

［ペタンク協会］
減免についても改定が行われるか。
［市］
減免については使用料の見直しとは別で考えていく。